



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)4月5日号 No.2020

目次

■ 地政学的転換点としてのESPOパイプライン	1
ーホルムズ海峡危機の中で浮上するロシアの代替供給ルートー	
■ 統計速報	7
2025年1～12月のロシアの主要経済指標／7	
2026年1月のロシアの貿易／11	
■ トピックス	12
ウクライナ、ロシアの石油産業への攻撃強化／12	
ロシアとベトナム、エネルギーと物流分野で協力拡大／12	
ジョージアと北海道余市町が協力覚書締結／12	
アジアナ航空、ソウル・タシケント線を再開／12	
JISDA、ウクライナに現地拠点を設立／12	
JBIC、日本企業のウクライナ養豚用システム開発事業に融資／12	
テラドローン、ウクライナ企業に出資／13	
StoD、モンゴル高専にAI技術可視化基盤導入／13	
ロシア、ガソリン輸出規制強化へ／13	

地政学的転換点としてのESPOパイプライン ーホルムズ海峡危機の中で浮上するロシアの代替供給ルートー

(一社)ROTOBO ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

世界のエネルギー市場は、地政学的緊張の高まりと供給網の不安定化により、大きな転換点を迎えている。とりわけ中東情勢の緊迫化やロシアによるウクライナ侵攻後の制裁措置は、各国のエネルギー調達戦略に深刻な影響を及ぼし、従来の供給構造を揺さぶっている。こうした環境変化の中で、ロシアの太平洋沿岸からアジア太平洋地域へ原油を供給する「東シベリア・太平洋石油パイプライン(ESPO)」の重要性が一段と高まっている。

本レポートでは、ESPOパイプラインの概要とその役割、アジア市場におけるESPO原油の重要性、そしてウクライナ侵攻後の地政学的変化がもたらした影響について整理し、アジアのエネルギー安全保障におけるESPOの位置づけを考察する。